ほうでえ～　ありゃ～のう

周防大島 町の話題

星野哲郎スカラシップ表彰式

受賞者の皆さん（写真右から）
平原直人さん（大島商船高専４年）
久保彩佳さん（大島商船高専４年）
椎木町長
佐藤太郎さん（大島商船高専１年）
池田智裕さん（周防大島高等学校３年）
山田幸英さん（大島看護専門学校１年）

11月18日、星野哲郎スカラシップ（奨学金）表彰式が行われました。この奨学金制度は、星野先生がふるさと周防大島町に感謝の気持ちを込めて創設された制度で、町内の学校に通う学生、町外の学校に通う町在住の学生が決められたテーマで２０００字程度の作文を提出し、選ばれた学生に学資資金を授与するものです。

５回目となる星野哲郎スカラシップには、町内外の学校から15名の応募があり、選考委員会の厳正な審査の結果５名の受賞者が決定しました。今回受賞された作品は、表彰式で朗読され、皆さん熱心に聞き入っていました。表彰式に出席した星野先生のご子息、有近真澄さんは、「星野がこの記念館が出来たときに、この島の子供達に『愛されている事を忘れないで。』と言った言葉が印象に残っています。受賞された方、この度応募いただいた方、全ての方の夢が実現されるよう願っています。」とメッセージを伝え、椎木町長より、それぞれの受賞者に、奨学金20万円と賞状が授与されました。

なお、来年度も星野哲郎スカラシップを行う予定としていますので、町内の学校に通学の学生、町外の学校に通う町在住の学生皆様のご応募をお待ちしています。

◆問い合わせ　商工観光課　☎０８２０（７９）１００３

茅原郁夫さん アジア・太平洋賞特別賞を受賞

▲11月22日
東京大島郡人会にて撮影

周防大島町（東屋代）出身の茅原郁夫さん（拓殖大学名誉教授）が、第24回アジア・太平洋賞の特別賞（毎日新聞社など主催・外務省など後援）を受賞されました。

『アジア・太平洋賞』は、アジア太平洋地域に関する優れた出版物の著者に贈られるもので、茅原さんはこのたび『中国軍事大国の原点』を執筆されました。

受賞された本は町へ寄贈され、茅原さんは「中国とは尖閣諸島をめぐる軋轢など厳しい状態が続く関係ですが、経済面では相互依存が進んでおり、正しい中国への理解が進むようにとの願いで本書を書きました。」と話されました。本は図書館で借りることができます。

公共施設などへ海抜表示を設置します

11月5日、町役場大島庁舎や大島文化センターなどの公共施設に海抜表示を設置しました。

周防大島町は県内で唯一、東南海・南海地震の防災対策推進地域に指定されており、津波避難に役立てるため、今年中に町内２０４か所の公共施設などに海抜表示を設置します。